

灘区医療介護サポートセンター便り



2024年(令和6年)10月 第10号

発行 灘区医療介護サポートセンター

住所 灘区水道筋1丁目24 灘区医師会館内 電話 078-801-1120 FAX 078-801-1121

新年度に入り、多忙な日々をお迎えのことと思いますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

日頃より、多くのご協力を頂き誠にありがとうございます。



「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

「サポートセンター便り」では、医療・介護・福祉職の皆さまの連携に役立つ情報や研修会等の活動報告を発信してまいります。

R6 年度後半の研修会予定

いずれの
研修会も
参加費
無料

第16回灘区認知症医療連携勉強会 (共催:灘区医師会・灘区医療介護サポートセンター)

*「認知症の診療」「医療・介護・福祉の連携」をテーマに開催します。
特別講演では、認知症の最新治療を含めてお話しいただきます。

【日時】2024年11月14日(木) 19:00~20:30 (受付開始 18:30)

【場所】灘区文化センター 5階大会議室

講演「認知症～アルツハイマー型認知症の最新治療を含めて～」

講師:むらかみ内科クリニック 院長 村上 永尚先生

事例紹介

事例紹介者:神戸婦人同情会 プリンスパーク 主任介護支援専門員 吉田 智哉氏



2024年度 灘区医療・介護関係者の研修会

「認知症高齢者の食支援～食べない、ムせるへの対応～」(共催:灘区歯科医師会・灘区医療介護サポートセンター)

*認知症には種類それぞれに異なる症状が現れることで知られています。認知症の種類ごとにみる摂食嚥下障害の症状の特徴について学ぶ機会です。

【日時】2024年11月30日(土) 18:00~19:30 (受付開始 17:30)

【場所】灘区文化センター 5階大会議室

講師:大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹司先生



令和6年度 基幹病院と灘区・東灘区の病院と在宅との交流会 (共催:灘区医療介護サポートセンター・東灘区医療介護サポートセンター)

*近隣の基幹病院にもご参加いただき範囲を拡大して開催します。

患者(利用者)さんの望む退院後の生活を、病院と在宅が同じ視点で支援するための有効な「退院前カンファレンス」について事例を用いてざっくばらんに意見交換をおこないます。

テーマ:『深めよう!入退院支援～みんなで考える理想の退院前カンファレンス～』

【日時】2024年10月10日(木) 18:30~20:30 (受付開始 18:15)

【場所】灘区文化センター 5階大会議室

【参加対象】基幹病院、灘区・東灘区内の病院、診療所、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、あんしんすこやかセンター



名刺をお持ちください

第22回 さくら塾 ～灘区多職種連携研修会～ (主催:灘区在宅ケア推進会・灘区医療介護サポートセンター)

テーマ:身寄りのない人を多職種でどう支えていくか(仮題)

【日時】2025年2月15日(土) 時間は14:00~16:00を予定

【場所】灘区文化センター 5階大会議室

*医療・介護・福祉からの介入や支援について。

困難ケースで協働できる専門機関や専門職の役割や連携方法を共有する機会にしたいと考えています。



「灘区在宅ケア推進会」について

灘区では、医療・介護・福祉の関係団体や専門職の代表が顔を合わせて、年 3 回「在宅ケア推進会」と 4 回程度「在宅ケア推進会コア会議」を開催しています。今年度は、在宅医療・介護連携推進事業の現状について好事例を現場で体感し、県内で市展開するための知見を得ることを目的に、兵庫県職員が灘区の取り組み（在宅ケア推進会、サポートセンター事業）に参加しています。

（設置目的）

区民が、医療や介護等が必要になっても住み慣れた地域や適切な場所で、安心してできる限り在宅療養が続けられるように、医療・介護が一体的に提供できる包括的かつ継続的な仕組みを構築し、推進するために灘区在宅ケア推進会（以下「推進会」）が設置されています。

（所掌事務）

推進会は、次に掲げる事項について、協議しています。

- （1） 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- （2） 在宅医療及び介護提供体制の構築に関すること
- （3） 医療と介護の多職種連携を効果的に推進すること
- （4） 医療・介護関係者の情報共有の支援
- （5） 在宅医療及び地域包括ケアシステムの普及啓発活動に関すること
- （6） 前号に掲げるもののほか、在宅医療の推進に関し必要と認めること



（組織）

以下、灘区の各団体代表者で組織されています。（2024 年度現在）

医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院（地域医療連携室）・兵庫県栄養士会・兵庫県歯科衛生士会・神戸市老人福祉施設連盟・神戸市介護老人保健施設協会・神戸市ケアマネジャー連絡会・神戸市リハ職種地域支援協議会・訪問看護ステーション連絡会・訪問介護連絡会・えがいの窓口連絡会・なだ障害者相談支援センター・あんしんすこやかセンター・社会福祉協議会・区役所・医療介護サポートセンター

《令和 6 年度の方針》

在宅療養者の生活の場面は「日常の見守り」「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」と、それぞれが重なり合っている。地域には医療や介護につながっていない方々がいる。そのような方々をどのように医療や介護につないでいくのか。また、後期高齢者の増加に伴う高齢多死社会の進展も踏まえ、これらのことを意識しながら、専門職を対象に人生会議（ACP）の理解と普及を進めるとともに、患者となる区民が「在宅療養」や「人生会議（ACP）」を知るための活動も並行して進めていく。

また、新型コロナウイルス感染症に限らず、今後、新たな感染症が発生した場合に関連する事案についても、在宅ケア推進会内で迅速に情報共有を図り、効果的な対応策について協議し検討する。

更に、関係機関や団体で様々な災害に対する取り組みやシステム作りが進んでおり、その進捗状況などの情報共有を全体で行っていく。災害時の対応について BCP（事業継続計画）や医療と介護の初動の連携など、平時からのシミュレーションについても検討していく。

今年度は新たに、2025（R7）年は阪神淡路大震災から 30 年の節目でもあるので、協議・検討も様々行っています。

関係機関や団体で様々な災害に対する取り組みやシステム作りが進んでいます。その進捗状況などの情報共有を全体で行っていき、他業種・他事業所との情報共有の仕組みづくりなどについても協議を進めています。



2024年度 第1回灘区医療・介護関係者の研修会
食支援第2弾「食べるを支える多職種連携～安全に「食べる」支援と食の情報共有～」

- *①「食べない」「食べにくい」「飲み込めない」方々への食支援のポイントを知る
②「食べる」に関する観察ポイントがわかる
を、研修の目的に、「食べる」を支える職種の言語聴覚士さんから食支援のポイントと食の情報共有についてお話しいただきました。

日 時:令和6年6月26日(水) 14:00～15:30 灘区文化センター5階 大会議室
講演: 本山リハビリテーション病院 認定言語聴覚士(摂食・嚥下領域) 保井 菜緑 氏
参加者:50名

質疑応答では、参加者から多くのご質問をいただき、患者・利用者への「食べる」支援の関心の高さが伝わってきました。言語聴覚士からのお話は、具体的に嚥下するということがどういうことなのか、食べられるが、栄養量が確保できていない状況をどう考えるのか、多くの職種と連携することの必要性について理解を深める内容でした。今後も、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士など、異なる職種の観点から食支援を学ぶ機会を企画していきたいと思っております。

2024年度 第2回灘区医療・介護関係者の研修会
「多問題を抱えている方への支援～協働しよう・つながろう～」

日 時:令和6年7月24日(木) 18:30～20:30 灘区文化センター5階 大会議室
参加者:27名

今回は、
① 困難ケースで協働できる専門機関や専門職について理解を深める
② 多問題を抱えている方への支援について気づきが得られる
ことを目的に、医療や介護につながっていない方、ご自身を取り巻く環境に問題を抱えている方地域とのつながりが薄い方、困難ケースで協働できる専門機関や専門職から機能が役割についてお話しいただきました。事例検討では、「医療や介護につながっていなかった高齢者と精神疾患のある40代の子の支援」についてグループワークを行いました。皆さん和気あいあいと積極的に意見交換されていました。介護保険制度にのった高齢者の課題だけではなく、8050問題やひきこもりの問題が、実際に支援している利用者にも多いことが実感でき、早期に発見し、適材適所につなぐことの大切さを皆さん実感されていました。解決できなくても、多くの方が関わることで、早期につなげることで、その後の利用者の人生を変えることができるのではないかと考える研修会になりました。



2024年度 第1回多職種連携研修会 「つながろう！通所系サービス」

日 時:令和6年6月13日(水) 18:00～19:45 灘区文化センター5階 大会議室
内容:1)グループワーク ①多職種連携や情報共有について ②BCP(事業継続計画)のシミュレーションについて
2)講演:「令和6年度介護報酬改定について」
神戸市福祉局監査指導部 介護保険サービス・法人指導監査 担当課長 中戸欣尚氏

参加者:12名
*参加者からは、「他のデイの方も同じことで困ったりしていることが、意見交換することで、少しでも解決できるきっかけになるのかなと思う」「情報交換や横のつながりは大切」などの感想をいただきました。グループワークでは活発に意見交換が行われ、同業種間の横のつながり(情報交換など)を希望されていることがよくわかりました。他事業所との顔の見える関係づくりや活発な意見交換の機会となりました。

2024年度 第2回多職種連携研修会

「東南海地震がやってくる！医療・介護連携の課題」～大震災を振り返り、そこから見える医療・介護の連携の課題とは～
日 時:令和6年7月20日(土) 14:00～ 16:35 灘区文化センター5階 大会議室
参加者:39名

- 1) パネルディスカッション「地域における課題と取り組み」
座長: 灘区医師会 理事 辻 剛 先生
パネリスト: 灘区医師会 中迫医院 院長 中迫 博英 先生
医療法人若葉会 六甲病院 病院長 安保 博文 先生
訪問看護ステーションさくらみち神戸 管理者 久米 律子 氏
一般社団法人 さずな会 代表理事 小蘭 晶 氏
灘区役所 保健福祉部 保健福祉課 課長 大谷 幸治 氏



3)グループワーク「医療・介護連携の可能性と今後の課題とは」
今回は、①大規模災害時の対応について意識を高める ②災害時の医療・介護連携の課題を抽出する を目標に、パネルディスカッションでは、パネリストから30年前の震災時の状況のお話や、今般の災害ではどのような支援の対応になっているのか、また、今後はどのように取り組んでいくのか、など様々にディスカッションが行われました。また、グループワークでは医療・介護に関わる多職種間で活発な意見交換が行われ、いろいろな課題があがりました。災害時は様々なことを想定しておかなければいけません、それでも想定外のことが起こるので、そういうことを踏まえて平時からシミュレーションや訓練を行うこと、多職種、事業所間で連携しておくことがとても重要だということ共有しました。研修目標を十分に達成できる内容でした。

第21回さくら塾～灘区多職種連携研修会～ 「災害時の医療・介護・福祉の協働に向けて」

日時:令和6年8月24日(土) 13:45～16:45 灘区文化センター5階大会議室 参加者:83名

研修目標: ① 神戸市の大規模災害時の対応を知る
② 災害時の連携や協働について意識を高める

内容: 1)講演 1.「大規模災害時(地震発生時)の神戸市における対応」

講師: 神戸市危機管理室 花山裕貴係長、吉野貴美子係長

講演 2.「大規模災害時(地震発生時)の神戸市消防局における対応」

講師: 神戸市消防局 灘消防署 消防第3係長 桐野伸隆氏

2)報告「災害時の医療と介護の連携の課題」

3)シミュレーションしてみよう:

寸劇「サービス提供中に大規模地震が起こった!さあ、大変だ!」

4)グループワーク「災害時を想定した協働に向けて、これからできること」

発災直後は、直ちに何をすればよいかを定めた緊急・初期対応の行動マニュアルである「災害対応マニュアル(初動対応マニュアル)」に沿った対応になります。

BCPは、災害マニュアルに沿って緊急対応をしながら、業務が中断した際に、代替手段を使って、いかに業務継続するかという点を踏まえながら発動するかどうか検討されることが重要です。

「通信手段の確保・連携ツール」「事業所間・多職種・医療との連携」については、代替システムや協力体制を地域も含めて、誰が、どこが、どのような協力ができるのか、人員協力できるか、などの体制づくりやその情報発信を進めていくこと。

「利用者の安否確認」「支援者・利用者への対応」「自助、共助について」は、平時から利用者・患者に意識を持ってもらうことはとても大切です。それは、『サービス担当者会議』を活用し、本人や家族、各事業所との具体的な検討・共有が重要だ、ということが話し合われました。神戸市や神戸市消防局の体制を知り、シミュレーションで体感することで、参加者の意識が高まり、日頃からの関係性を築くことの大切さを認識することができました。

相談対応から

【レスパイト入院が可能な医療機関について】

70代、男性、要介護、老老世帯

車いす(移乗は見守り)、リンパ腫と脊髄梗塞、バルン留置、足のやけどの処置の必要あり、3回/1W-排便コントロール(浣腸)

妻は認知機能低下、血糖コントロール不良(インスリン自己注射治療中)

妻の血糖コントロール目的の入院中に、夫がレスパイト入院(2W~4W程度)できる医療機関はあるだろうか?

往診している病院から今後常に受け入れるのは難しいと言われている

対応→相談者と共に相談内容を整理し助言を行い、複数の医療機関について情報提供を行いました。

【入院中に延命処置の対応が可能な医療療養病床のある病院】

70代、男性

誤嚥性肺炎を繰り返し状態が悪化し病院に入院中でCVポートを留置している

本人は延命を希望しておられ、療養病床入院中に状態が悪くなった場合に人工呼吸器装着の対応が可能な病院はあるだろうか?

急性期病院からいくつか病院を紹介してもらっている

どこも受け入れ先がなければ、人工呼吸器をつけて在宅復帰するように言われている

対応→延命処置の対応について相談が可能な医療機関について情報提供を行いました。

【グリーフケアをおこなっているところを知りたい】

施設に入っていた母親を引き取り、看取りをした家族

看取り後、精神的に落ち込んでおり、グリーフケアを希望されている。

看取りの最期は、医療機関に入院した。その医療機関ではグリーフケアはしていないと言われた

対応→医療機関で行われているグリーフケア外来と関西遺族会ネットワーク(遺族会一覧)に様々な遺族会が掲載されているので、自分に合ったところを探してみてもお伝えしました。



医療介護サポートセンター ホームページのご案内

医療介護サポートセンターのホームページでは、各区サポートセンターの紹介やお知らせ、市民講座、研修案内、活動報告などご覧いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

URL:<https://kobe-iks.net>



灘区医療介護サポートセンターのページ

URL:<https://kobe-iks.net/area/nada>

二次元コードはこちら



【編集後記】風にゆれるコスモスに、秋を感じる時候となりました。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋……など、秋と結びつく言葉がたくさんあります。お米や果物が実る秋は、快適に過ごしやすい季節です。秋の代表的な食べ物や果物とともに、秋を満喫できる季節の花や紅葉など、いろいろな楽しみがいっぱいの秋。

今年はどうな秋を過ごしますか? まずは身近な秋を見つけに近くを散歩してみてもいかがでしょうか。

朝夕と涼しく過ごしやすいりましたが、日中まだまだ暑い日が続きます。体調に気をつけてお過ごしください。

